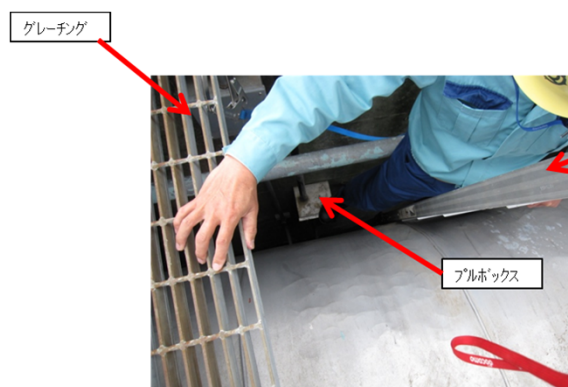
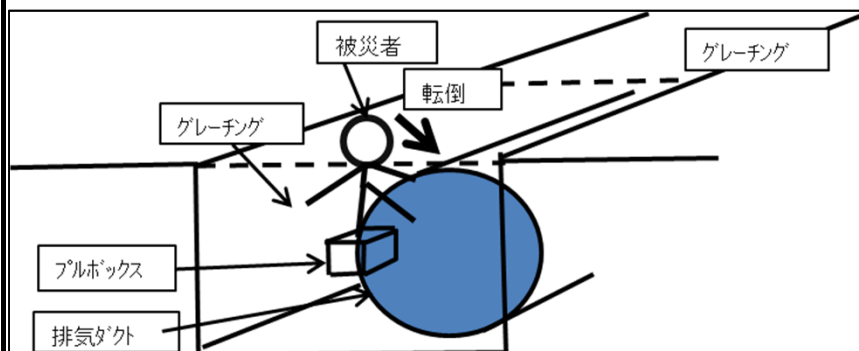


発生日時	平成 25 年 5 月 16 日 (木) 11 時 5 分				天候	晴
工事情報	河川事務所 点検業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	18	作業員	左上腕骨顆上骨折、左橈骨神経麻痺		
事故概要	地下の排気ダクト溝の点検を実施後、地上部に上がる際に、作業員が誤って約2m転落し、負傷したもの。					
	労働災害－墜落					

事故発生状況



災害時、梯子は設置していなかった。

・地下の排気ダクト溝の目視点検を実施後、地上部に上がる際、側壁に据え付けてあったプルボックスに足をかけ、グレーチングをつかんで上ろうとしたが、つかみきれずに作業員が転落した。

・仮設の昇降設備(梯子)を設置していなかった。

【事故発生原因】

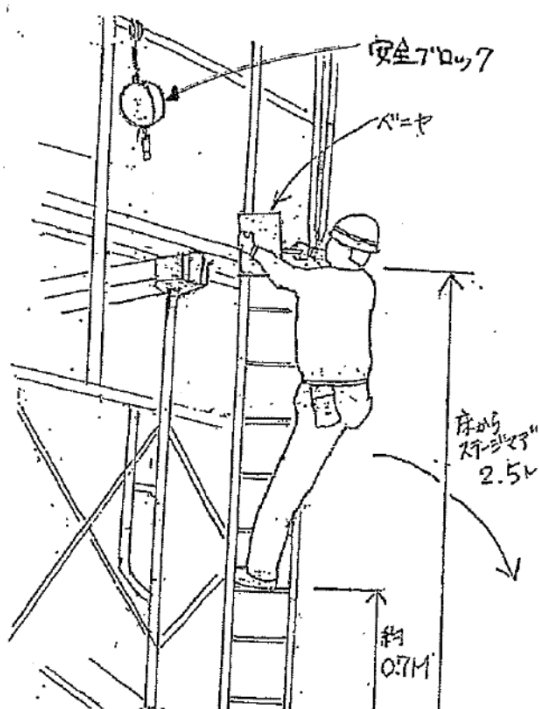
・墜落の危険がある箇所での作業に対する安全対策が実施されていない。 など

【事故防止のポイント】

・墜落の危険がある箇所では、仮設の昇降設備の設置など、必要な措置を行う。 など

発生日時	平成 25 年 6 月 12 日 (水)				9 時 15 分	天候	雨
工事情報	営繕事務所 建築工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	35	型枠工	左踵骨骨折			
事故概要	200角程度の型枠材を左手に持った状態で昇降タラップを昇った際、手を滑らせてバランスを崩し、地面に落下し、負傷したもの						
労働災害－墜落							

事故発生状況



・型枠建て込みのため、200角程度の型枠材を左手に持った状態で昇降タラップを使用して、作業床(H=約2.5m)へ昇る際、手を滑らせてバランスを崩し、地面に落下(約0.7m程度)。左踵を強打して、骨折。

・急な落下を防止するため、安全ブロックがついており、作業手順書等では使用することとなっていたが、作業員は使用していなかった。

・型枠材料を上下に運搬する際は、つり綱やつり袋等を使用しなければならないが、そのための設備が設置されていなかった。

【事故発生原因】

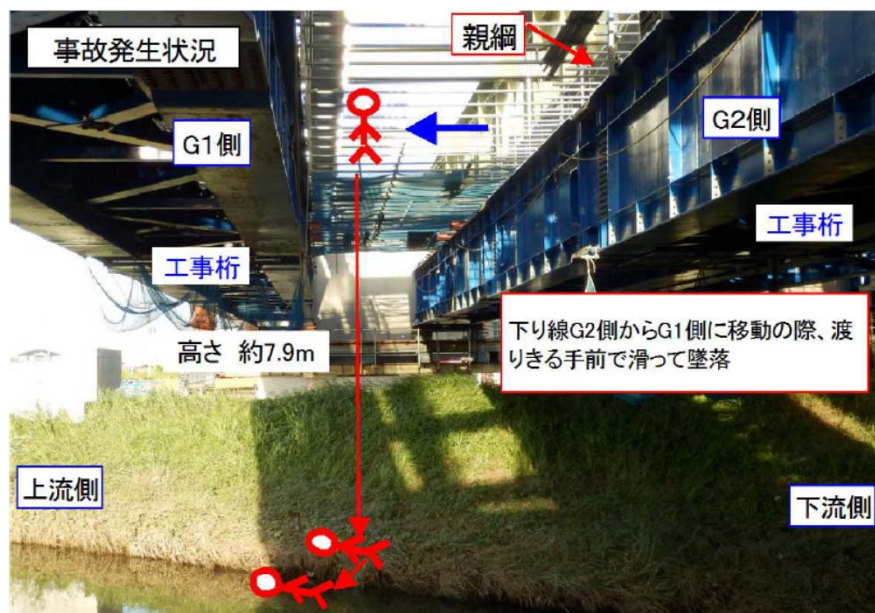
・適切な作業手順や安全対策等の周知・徹底がなされていなかった。
など

【事故防止のポイント】

・適切な作業手順を作成し、安全対策実施の周知・徹底を行う。
など

発生日時	平成 25 年 9 月 17 日 (火) 16 時 5 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	60	鳶工	左目上裂傷、ほお骨骨折、左肩脱臼		
事故概要	作業員が吊り足場ネット張り中に工事用の仮設桁から河川法面に落下(およそ7m)し、負傷したものの。					
	労働災害－墜落					

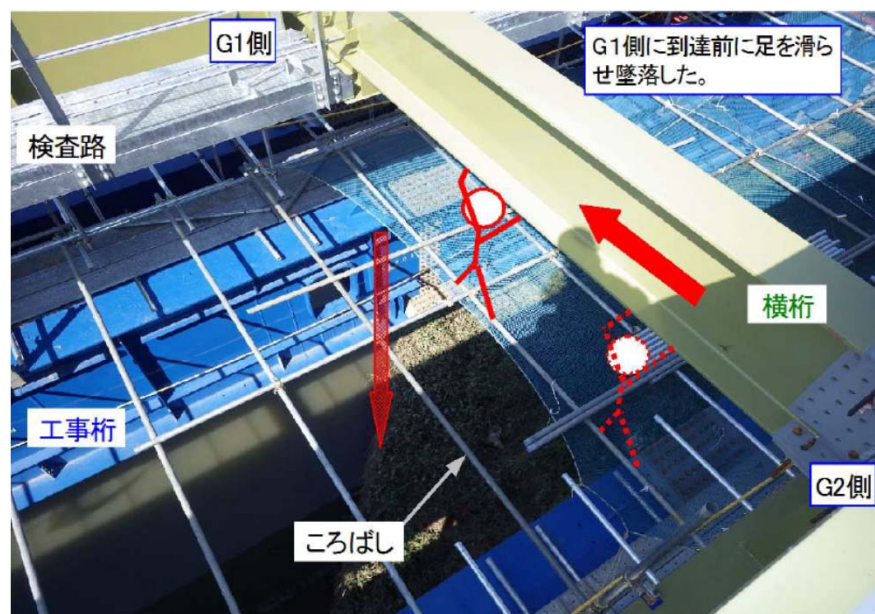
事故発生状況



・主桁下面足場組立中、被災者と共同作業者の2名でネットを設置していた。

・共同作業者がネット紐を取りに行っていたところ、被災者が自分側のネット張りが完了したので、反対側のネットを張りに行こうと横桁を手で掴み、ころばしの上を渡り、工事桁に足を乗せようとしたときに、墜落し被災した。

・被災者は2丁掛けの安全帯を着用し、ネット張り時は使用していたが、横断する際、親綱から外して移動した。



【事故発生原因】

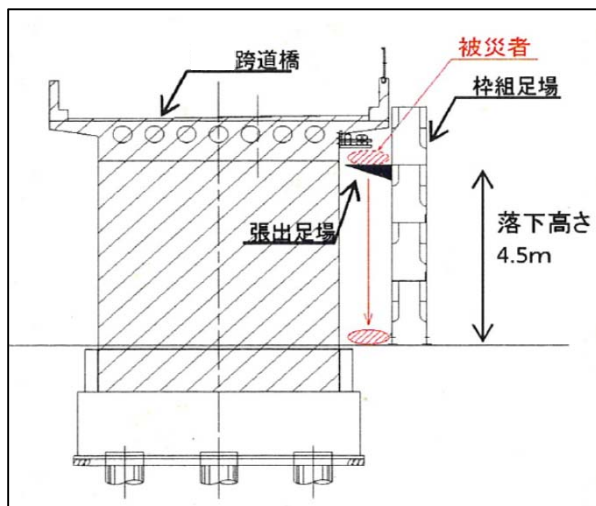
・安全帯を使用せず、作業手順書にない行動をしたため。
など

【事故防止のポイント】

・安全帯を使用した作業を実施するよう周知・徹底を行う。
など

発生日時	平成 25 年 10 月 4 日 (金)					9 時 40 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事							
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度				
	男	24	とび工	第12胸椎・第1腰椎脱臼骨折(全治3ヶ月)				
事故概要	橋梁上部工に添架物(水道管等)設置作業が終了し、張り出し足場を解体中、張り出し足場から桝組足場へ移動する際、作業員が足場から墜落し負傷したもの。							
	労働災害－墜落							

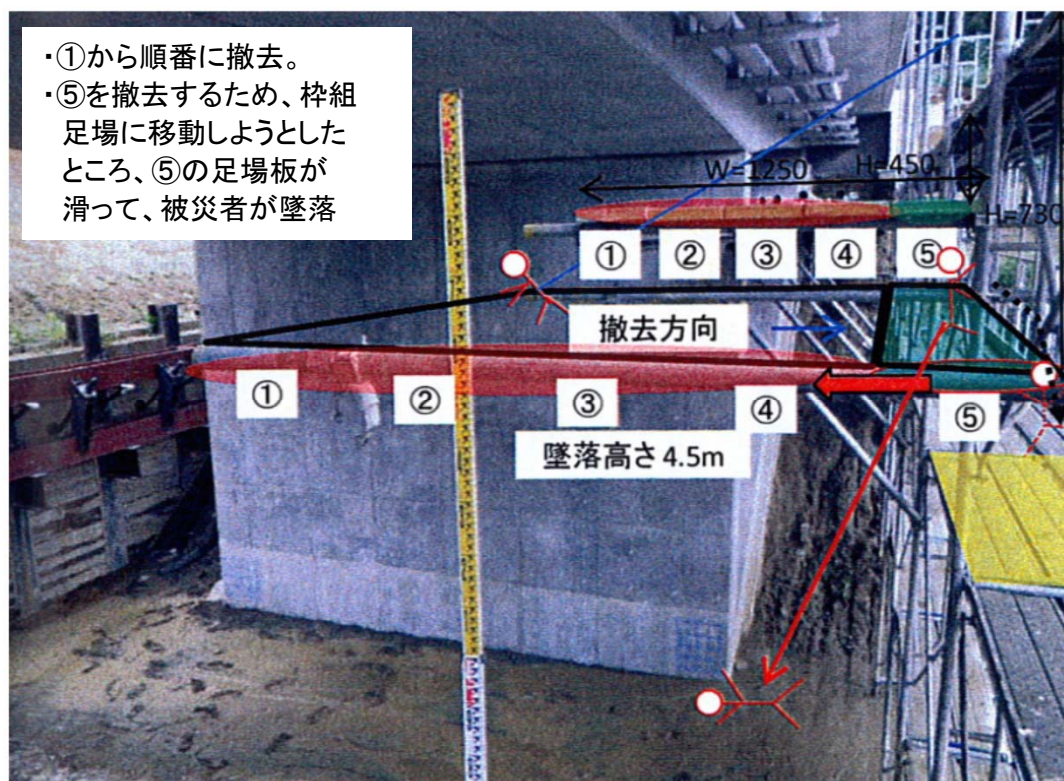
事故発生状況



・張り出し足場の解体作業中、被災者は張り出し足場の足場板を安全帯を使用しながら外側から順に取り外していった。

・最後の1枚の足場板を桝組み足場側から撤去するため、桝組足場へ移動しようとした際、使用していた安全帯を一時的に外して移動をした。

・そのときに、足場板が滑り、足場上から落下し、被災した。



- ・①から順番に撤去。
- ・⑤を撤去するため、桝組足場に移動しようとしたところ、⑤の足場板が滑って、被災者が墜落

【事故発生原因】

- ・安全帯を使用していなかったため。
など

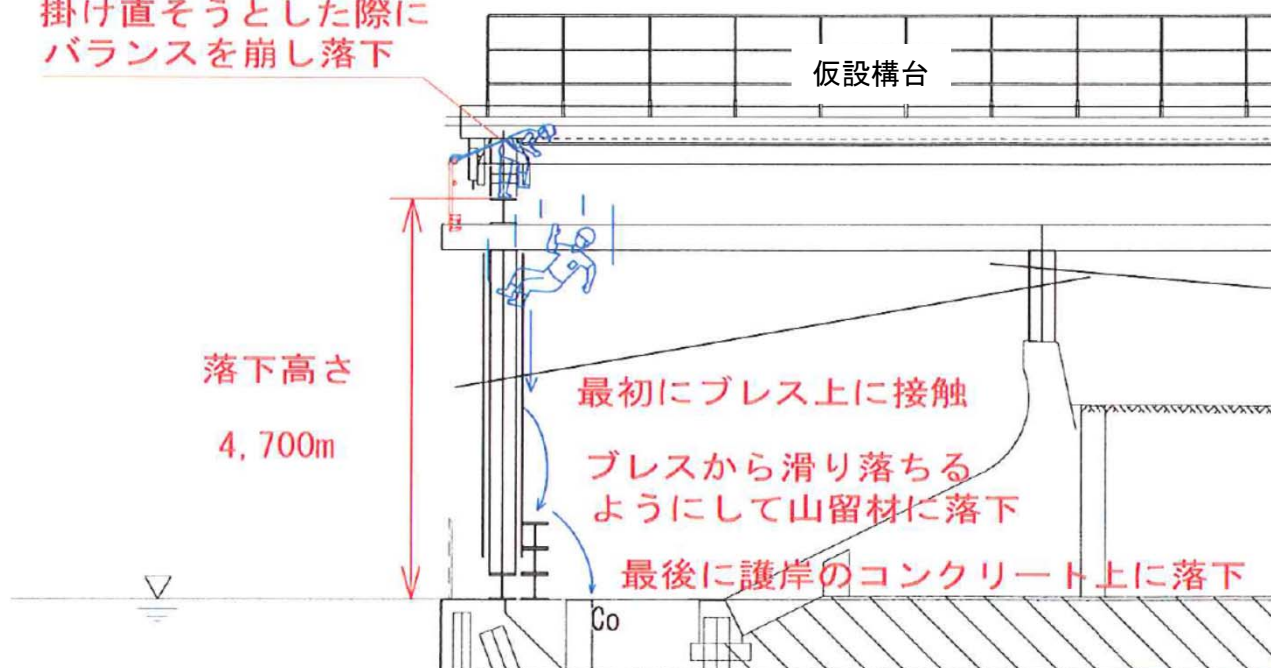
【事故防止のポイント】

- ・安全帯の使用。
- ・墜落防止の安全教育の徹底。
など

発生日時	平成 26 年 1 月 27 日 (月) 11 時 48 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	65	地盤改良工	左肩鎖骨骨折(全治28日)		
事故概要	地盤改良工を施工するための仮設構台施工中に、作業員が仮設構台から4.7m転落し、負傷したもの。					
	労働災害－墜落					

事故発生状況

ボルト締付け完了後、
移動する為に安全帯を
掛け直そうとした際に
バランスを崩し落下



【事故発生原因】

- ・墜落に対する注意不足。
など

【事故防止のポイント】

- ・安全帯の二丁掛けを行う。
など

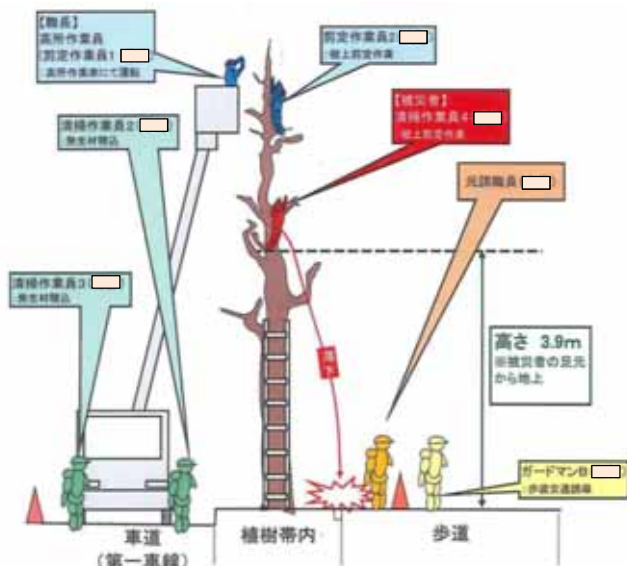
・地盤改良工を施工するための仮設構台施工中に、作業員が仮設構台から転落し、負傷した。

・当時、被災した作業員は、仮設構台のボルト締め作業を実施しており、作業が終了し、移動するため、安全帯を掛け替えようとした。

・安全帯を掛け替えるため、立ち上がった際、バランスを崩し、転落した。

発生日時	平成 26 年 2 月 6 日 (木)				16 時 20 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	39	造園工	右橈骨遠位端骨折、両側距骨骨折(全治6ヶ月)			
事故概要	樹上で剪定作業を行っていた1名が1本吊り用安全帯をU字吊り安全帯の形で幹に回し掛け、後方に体重を掛けたところ、工具差し用金具の外れ止めに負荷がかかり、外れ止めがその負荷に耐え切れずにフックが外れ、高さ3.9mの樹上から落下し、負傷したもの。 労働災害一墜落						

事故発生状況



・樹高8m、枝張り4m、幹周り94cmのイチョウの剪定作業を行っていたところ、樹上で作業を行っていた1名が1本吊り用安全帯をU字吊り安全帯の形で幹に回し掛け、胴ベルトに取り付けた本来かけるべきでない工具差し用金具にフックを掛け、後方に体重を掛けたところ、工具差し用金具の外れ止めに負荷がかかり、外れ止めがその負荷に耐え切れずにフックが外れ、高さ3.9mの樹上から真下の歩道に落下し負傷した。

・当該木の剪定作業開始時、別の剪定作業員(樹上)と職長(高所作業車)の2名で剪定することを作業員全員に指示したが、被災者は担当していた枝の清掃作業に余裕ができたため、被災者の判断で樹上に登り剪定作業を開始し、職長から降りるよう指示され一度は従ったが、再び樹上に登り被災した。

【事故発生原因】

- ・安全帯の使用方法が間違っていた。
- ・役割以外の作業を行った。
- など

【事故防止のポイント】

- ・安全帯は正しく使用する。
- ・役割分担を明確にする。
- など